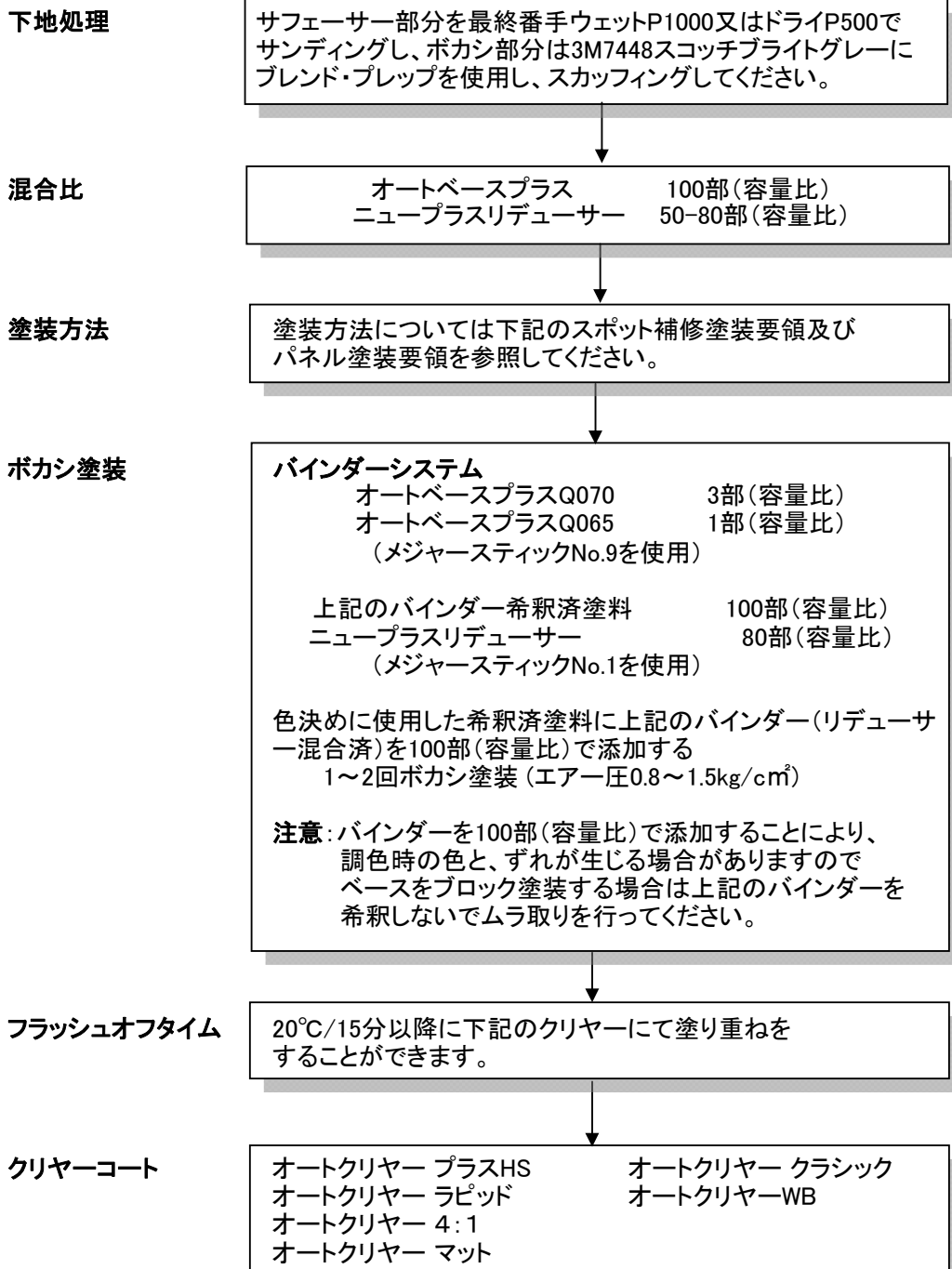


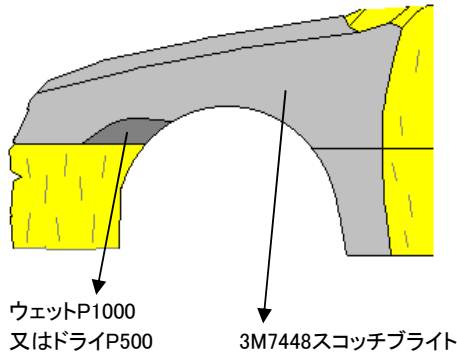
オートベースプラス スズキZGF(日産ZGF)、ホンダYR-548の
スポット補修塗装要領

上記の塗色については下記の適切な方法でスポット補修してください。



オートベースプラス スズキZGF(日産ZGF)、ホンダYR-548の
スポット補修塗装要領

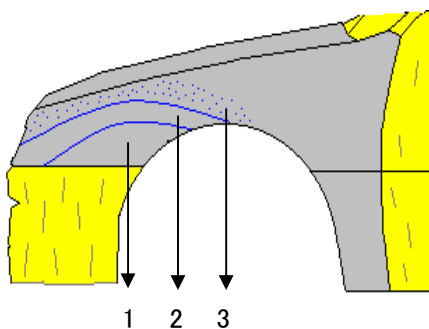
(ステップ1)



サフェーサー部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分は3M7448スコッチブライトグレーにブレンド・プレップを使用しスカuffingしてください。

塗装開始前にはM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

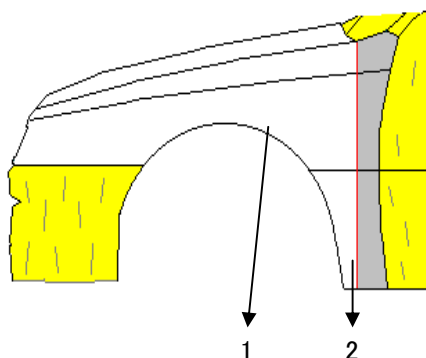
(ステップ2)



* ボカシ際のオーバーミストを防止する為には先にブレンディングエージェントを使用してください。

スポット補修の場合スプレー圧力は最初から最終コートまで0.8~1.5kg/cm²で設定してください。左記の図のように部分1~2を2回ミディアムコートし、各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分3まで大きく既希釈済塗料にバインダー(リデュース混合済)を100部(容量比)で添加してボカシ塗装をしてください。

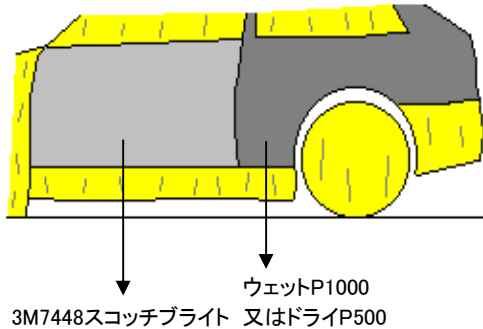
(ステップ3)



オートベースプラス塗装終了後、20°C/15分以上フラッシュオフタイムを取ってからクリアーコートしてください。クリアーコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)

オートベースプラス スズキZGF(日産ZGF)、ホンダYR-548の パネル補修塗装要領

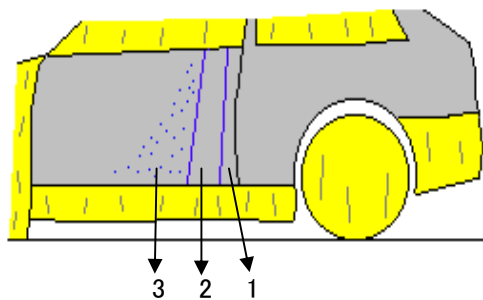
(ステップ1)



左図は、クォーターパネル補修を示しています。クォーターパネル部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分(ドア)は3M7448スコッチブライトグレーにブレンド・プレップを使用しスカuffingしてください。

塗装開始前にはM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

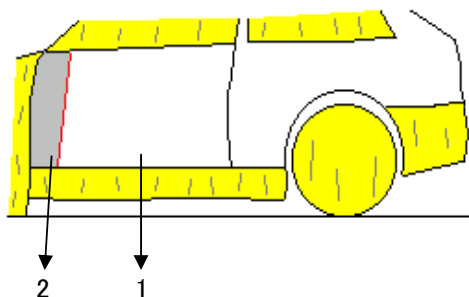
(ステップ2)



* ボカシ際のオーバーミストを防止する為には先にブレンディングエージェントを使用してください。

部分1~2まではウェットコート、ミディアムコートし、スプレー圧力は、 $2.0 \sim 3.0 \text{ kg/cm}^2$ で設定してください。各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分3まで大きく既希釈済塗料にバインダー(リデューサー混合済)を100部(容量比)で添加してボカシ塗装をしてください。

(ステップ3)



オートベースプラス塗装終了後、 20°C /15分以上フラッシュオフタイムを取ってからクリヤーコートしてください。クリヤーコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)